年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用）　　保健体育　　科目 保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　4 組

教科担当者：（1組：髙島　）　（2組：髙島　）　（3組：髙島　）　（4組：髙島　）　（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 現代高等保健体育　大修館書店　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】運動の特性に応じた技能等及び健康安全についての理解と技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康について課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ○教材 ・『現代高等保健体育』（大修館書店） ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解することができる。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取組もうとしている。	○	○	○	10
	確認テスト			○	○		1
2学期	A 単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取組もうとする態度を身に付けさせる。	○指導事項 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり ○教材 ・『現代高等保健体育』（大修館書店） ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解することができる。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取組もうとしている。	○	○	○	16
	確認テスト			○	○		1
3学期	B 単元　安全な社会生活 【知識及び技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることに関心をもち、学習活動に意欲的に取組もうとする態度を身に付ける。	○指導事項 ・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法 ○教材 ・『現代高等保健体育』（大修館書店） ・プレゼンテーションソフト	【知識・技能】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることができる。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることに関心をもち、学習活動に意欲的に取組もうとしている。	○	○	○	6
	確認テスト			○	○		1 合計 35